

～ 第 58 回 ～

# 景気動向調査結果

－ 令和 7年 10 月分 －

[ 調査概要 ]

1 調査対象期間 令和7年 7 月～令和7年 9 月

2 調査対象企業数(H27～)

・卸・小売業	16
・建設業	16
・製造業	36 (うち伝統産業 20)
・宿泊・飲食業	16
・サービス業	16
計	100 社

3 調査方法 訪問による聞き取り調査

4 回答率 100% (100社)

飯田商工会議所 中小企業相談所

## 1 総 論

売上高・受注高は前回から回復し、卸・小売業ではマイナスではありますが増加回答が増えました。建設業は高い水準となり、製造業も受注増がみられる一方、宿泊・飲食業は大きく低下しました。サービス業は大きく回復しました。今後の見通しは全体としてやや低下の予想となっています。

コストは依然高止まりで、原材料や人件費の負担が経営に影響しています。経営課題ではコスト増と人材確保が引き続き大きな割合を占めています。

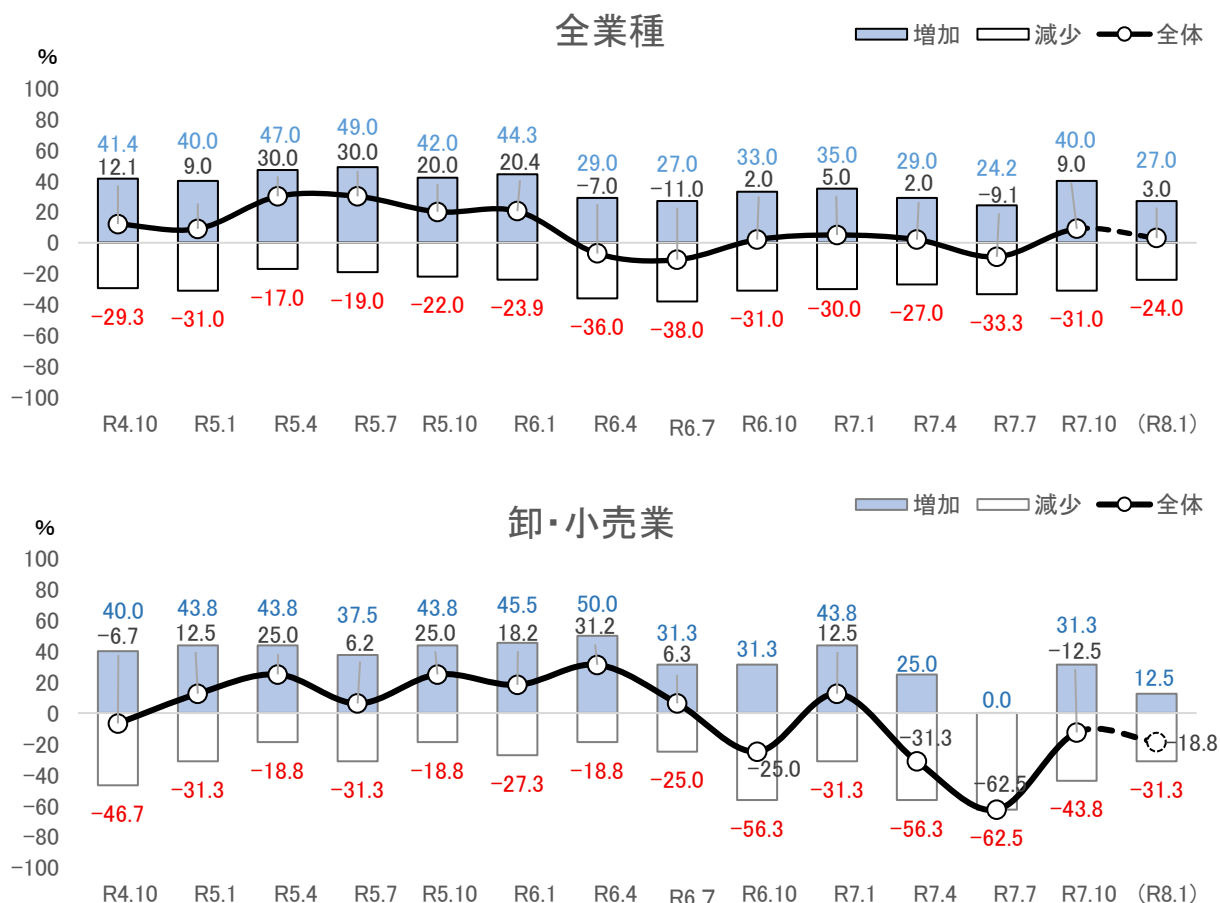
今回の5番目の項目については「最低賃金・生産性向上等について」の調査を行っており、人件費負担の増加や生産性向上への取組がみられます(詳細内容は後述)。

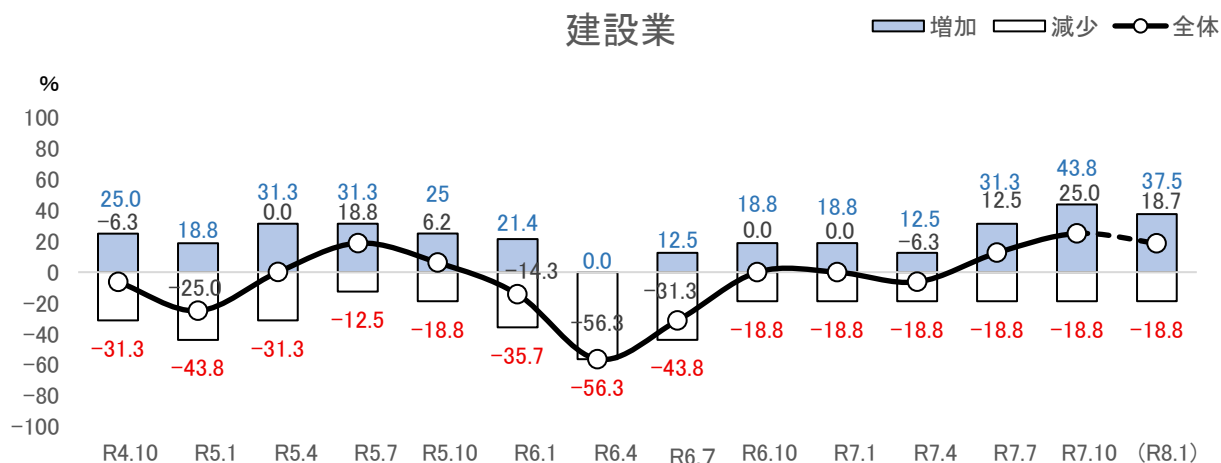
## 2 売上高・受注高 一前年同期との比較、今後3か月の予想一

前回より上昇したのは卸・小売業、建設業、製造業、サービス業、前回より減少したのは宿泊・飲食業でした。

業種別では、卸・小売業は卸売業を中心に増加回答が増えたことで回復しましたが、△12.5 ポイントと依然としてマイナスとなっており、価格上昇や節約志向の影響を受けています。建設業は25.0ポイントに上昇し、リフォーム需要の増加などがあげられています。製造業は8.3ポイントとなり、原材料費の上昇による価格転嫁、関税動向が落ち着き売上にも好影響が出たこと、一部製品の受注増などがみられました。宿泊・飲食業は前回から大きく落ち込み6.2ポイントとなりました。サービス業は18.7ポイントに回復、単価の上昇や利用者の増加などが理由としてあげられました。

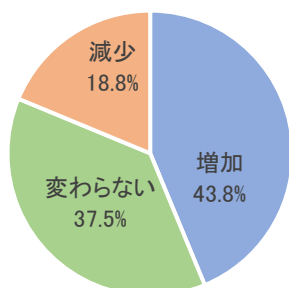
今後3か月の見通しは、全業種で3.0ポイントと、現状よりやや低下の見込みとなりました。需要の低下や、取引先の減少などを懸念する企業もみられます。



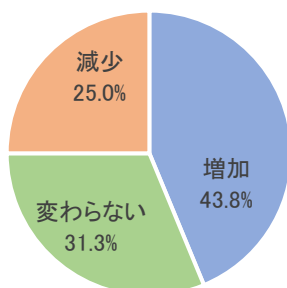


(建設業)

手持現場数

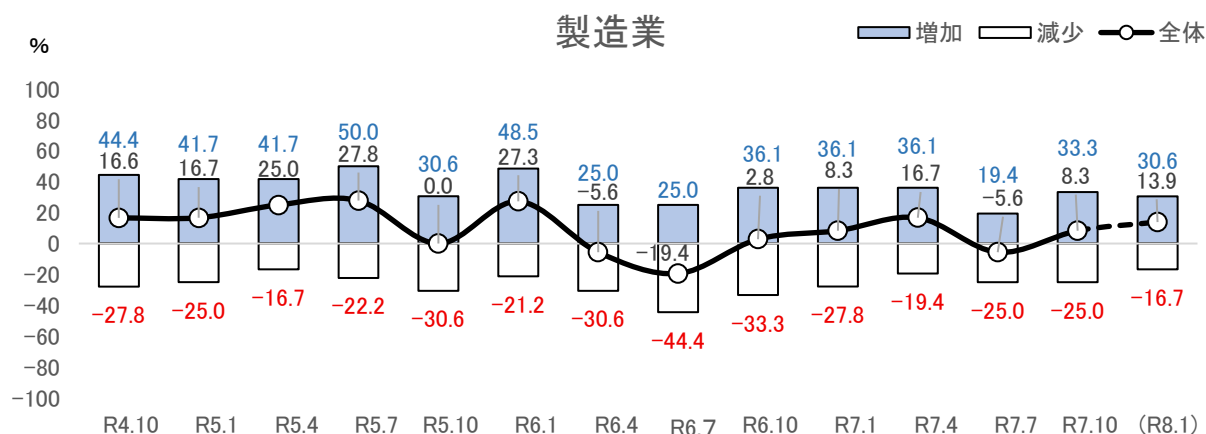
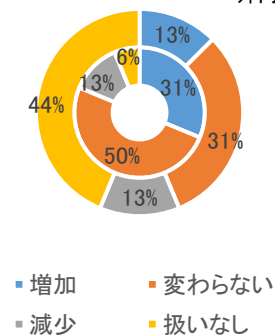


受注総額



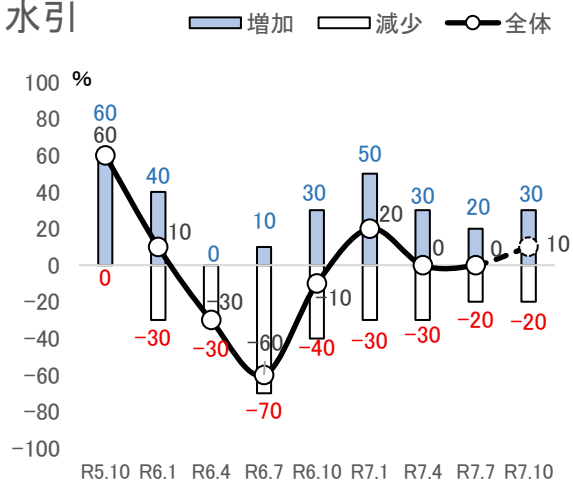
官民別

内円: 民間  
外円: 公共

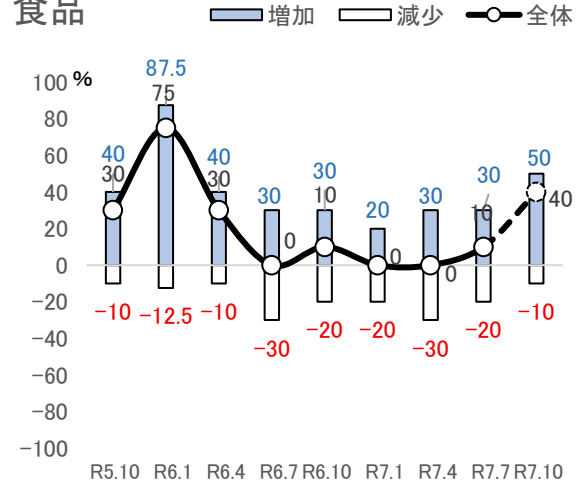


## (伝統産業)

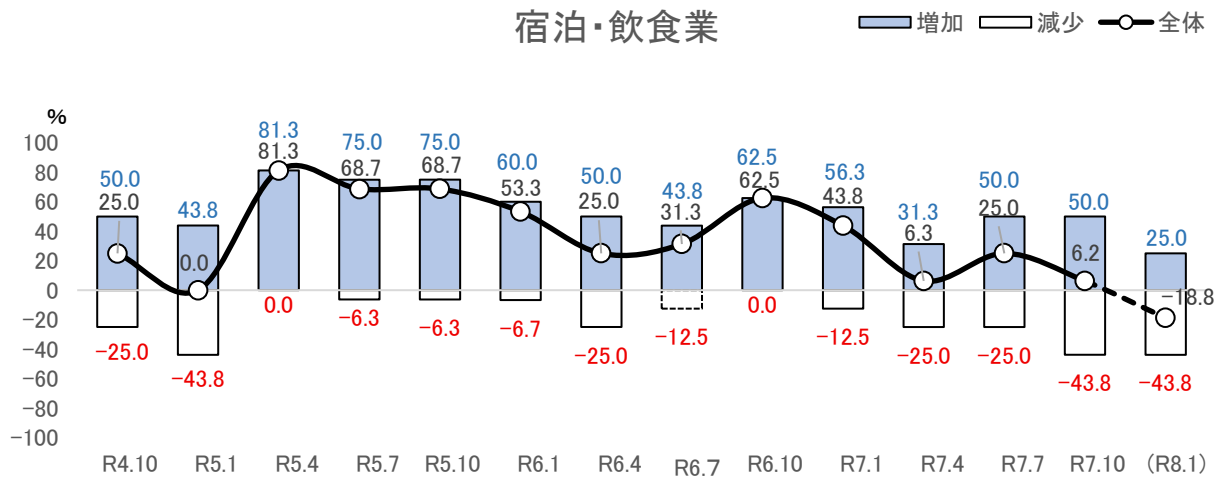
### 水引



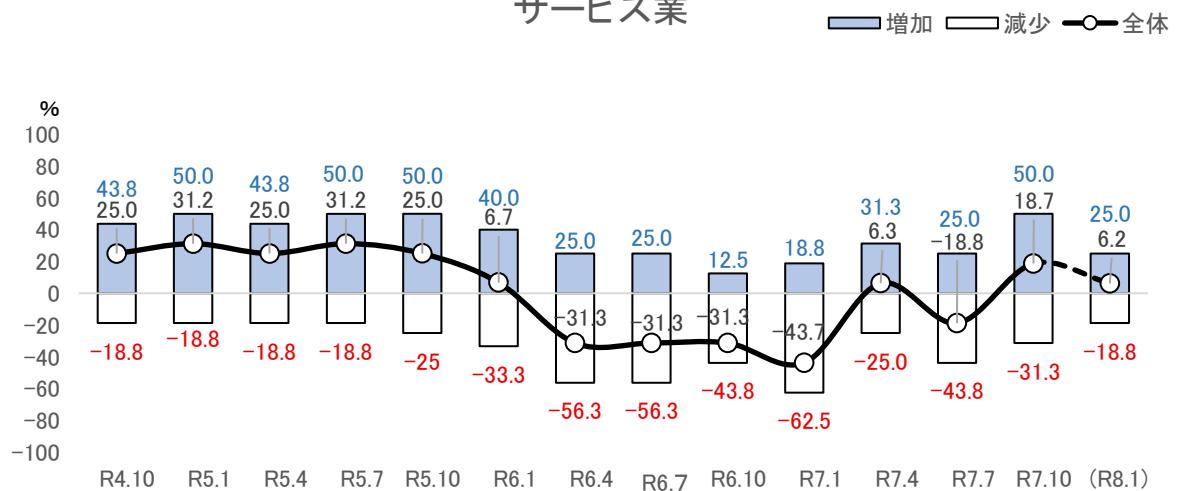
### 食品



## 宿泊・飲食業



## サービス業



【主なコメント】

◆増加要因

- ・スポットで機械の販売があった(卸・小売)
- ・新築は減少、リフォームは増加(建設)
- ・物価高騰により金額が上がっている(建設)
- ・去年が悪かった(建設)
- ・8, 9月大きな受注ができた(建設)
- ・リフォーム受注の増加(建設)
- ・仕事の内容が濃くなり、他社にまわせない特注が増えた(建設)
- ・外国からの注文が好調だった(製造)
- ・9月に味噌がテレビで取り上げられた影響で取引先増加(製造)
- ・商品値上げのため(製造)
- ・関税については落ち着いてきた(製造)
- ・防衛関係、民間航空機は好調である(製造)
- ・製造者増加(製造)
- ・メーカーの原材料値上げにより(製造)
- ・資材の値上がりに伴い価格改正をした(製造)
- ・消費単価(売値)を上げているので来客数は変わっていない(宿泊・飲食)
- ・スタッフが安定確保でき営業日数が増加(宿泊・飲食)
- ・少しずつ値上げができています(宿泊・飲食)
- ・登山客の増加による増加(宿泊・飲食)
- ・暦の関係で、盆前の予約が多かった(宿泊・飲食)
- ・値上げによる客単価の上昇(宿泊・飲食)
- ・単発的特殊要因による(サービス)
- ・受注・単価アップ(サービス)
- ・利用者数が増えている(サービス)
- ・値上げによる単価アップ(サービス)
- ・天候が良かったため、稼働日数が多かった(サービス)
- ・営業成果(サービス)
- ・価格転嫁、紙インク代の上昇(サービス)

◆減少要因

- ・閉店した支店分が減(卸・小売)
- ・全体として消費減、まちに賑わいがいない(卸・小売)
- ・新築は減少、リフォームは増加(建設)
- ・仕事自体が減少(製造)
- ・中国とアメリカの関係でレアアースが潤滑に入手されない(製造)
- ・取引先の生産計画下方修正が影響(製造)
- ・慣習の簡素化(製造)
- ・金封、のし袋需要の減(製造)
- ・在庫過多(製造)
- ・物価高による影響で自分用に買う人が少なくなった(製造)
- ・FA関係は戻ってこない(製造)
- ・今期も好調ではあるが、前期が良かった(製造)
- ・極端な変化はないが微減(製造)
- ・昨年よりブライダル受注が減少、宴会は昨年より微増(宿泊・飲食)
- ・コロナ以降の生活様式の変化による単価減少(サービス)
- ・昨年大口の仕事があったが今年はその分の穴埋めが出来なかった(サービス)
- ・派遣社員の減少と稼働日の減少(サービス)

◆今後3ヶ月予想

(好転)

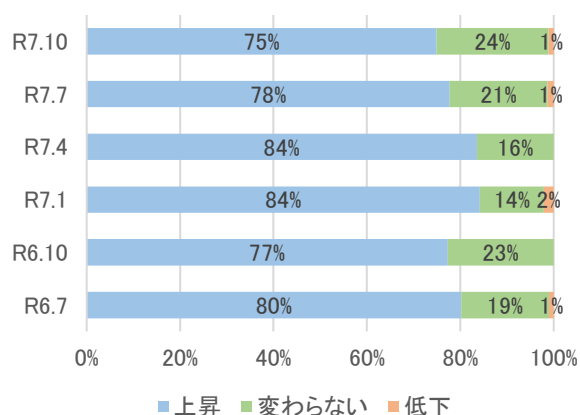
- ・紙の販売は減少するが、包装の販売がそれをカバーできる(卸・小売)
- ・昨年もよかったため(建設)
- ・受注件数は増えないが、前述の通り特注や特殊工事が増えてきたため、多少良くなる期待あり(建設)
- ・全体的に少しずつ良くなっている(製造)
- ・関税が15%に落ち着いたら徐々に動きが出てきた(製造)
- ・道の駅開業等による増加が期待できる(製造)

- ・11月1日から値上げにより売上増加見込み(製造)
- ・一応安定しており懸念はなし(製造)
- ・9月に味噌がテレビで取り上げられた影響で取引先増加(製造)
- ・これから機械化をして、注文を受けきれいでいなかった部分に対応できるようになる(製造)
- ・人の動きも好調でインバウンドも含め期待大である(製造)
- ・単価アップ、利用者数増加(サービス)
- ・会費制の単価アップ(サービス)
- ・天候次第(サービス)
- (悪化)
- ・店舗改装期間の売上減(卸・小売)
- ・社内で技術者が不足する事態が予想され、悪化しそうである(建設)
- ・10%程度減少(製造)
- ・取引先の減少による影響がどこまであるかは懸念される(製造)
- ・好転する材料がない(製造)
- ・年末商品については減少しておりトータルの売上としては変わらない(製造)
- ・企業の忘年会など宴会等をやらなくなってきているので、あまり見込めない(宿泊・飲食)
- ・これ以上は増えないと思う(宿泊・飲食)
- ・名古屋方面からの団体客が減ってきている(宿泊・飲食)
- ・人手不足による店舗閉店(宿泊・飲食)
- ・取り扱い先が1社になる(サービス)
- ・天候次第(サービス)

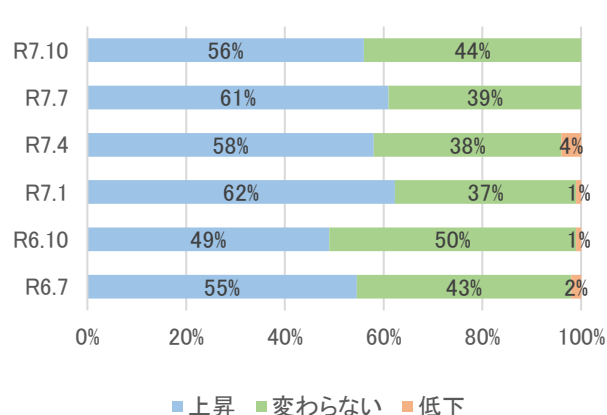
### 3 コストの状況 ―前年同期と比べて―(全体)

コストは全体として上昇が続いていますが、上昇回答は前回より若干減少しました。原材料・人件費・その他の経費は上昇回答がいずれも高水準で推移しており、特に原材料は依然として上昇回答の割合が高く、多くの企業で負担感が強い状況です。下請単価については一部業種での高止まりがみられ上昇回答が大きく減少していますが、10月の最低賃金上昇の影響を受けることも今後予想されます。その他の経費では運送関係費用の増加回答もみられます。

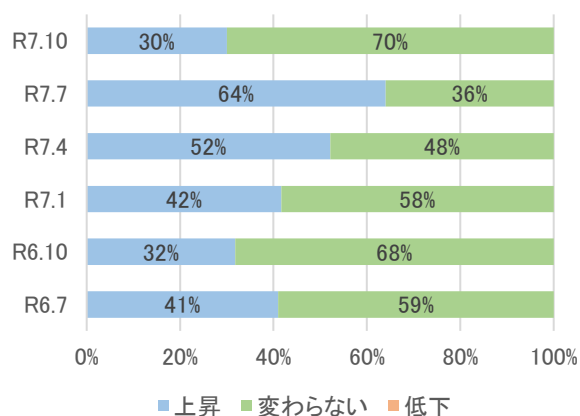
原材料



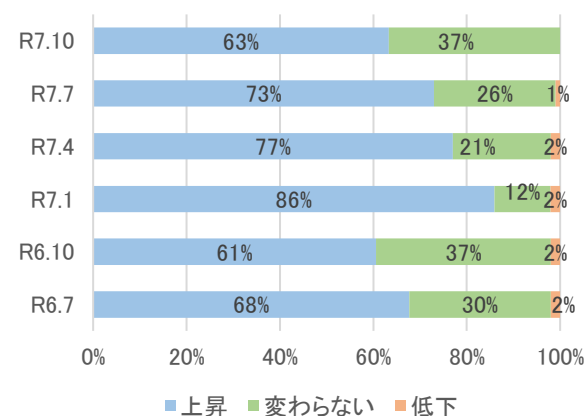
人件費



下請単価



その他経費



#### 【主なコメント】

##### ◆原材料

- ・メーカーからの卸値の値上げ、仕入値の値上げ(卸・小売)(建設)(製造)(サービス)
- ・各種値上げ(卸・小売)(建設)(サービス)
- ・原材料の高騰(建設)
- ・電線類の高騰(建設)
- ・生コンの価格上昇(建設)
- ・設備、照明関係の上昇(建設)
- ・価格上昇、物価高騰(製造)(宿泊・飲食)(サービス)
- ・価格の高止まり(製造)
- ・肉の価格上昇(製造)
- ・金属関係低下(製造)

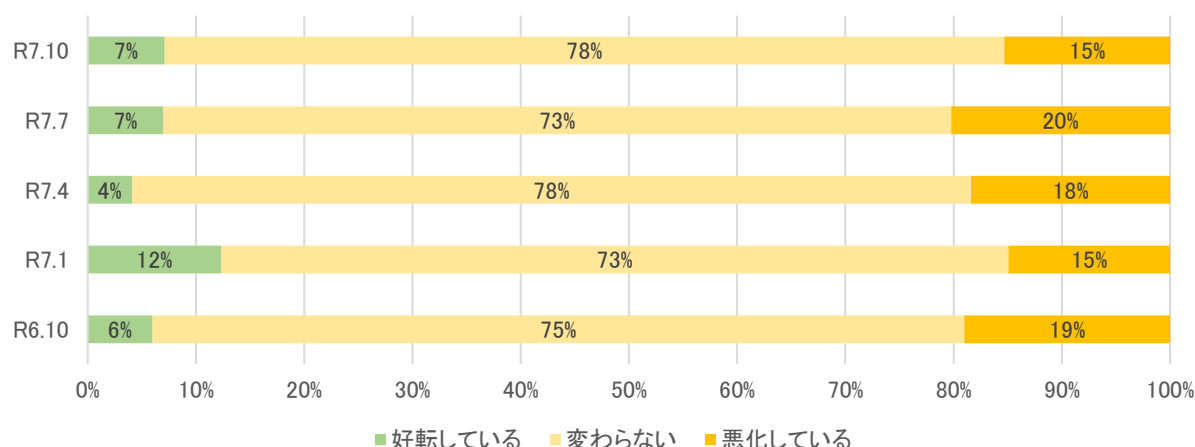
- ・水引、紙の値上がり(製造)
- ・世間の値上げベースに合わせた値上げ(製造)
- ・コメ不足(製造)
- ・為替、円安(製造)
- ・チョコレート、卵、バターが特に上がっている(製造)
- ・アルミ、真鍮等の価格上昇(製造)
- ・値上がりが継続し、安定供給にも不安(製造)
- ・2社問屋を使っているが、交渉が難しい(製造)
- ・食材全般の値上がり(宿泊・飲食)
- ・収穫前の天候にも左右されている(宿泊・飲食)
- ・厚紙、一般紙、溶剤の値上がり(サービス)
- ◆人件費
- ・昇給により(卸・小売)(建設)(製造)(サービス)
- ・最低賃金引上げ(卸・小売)(製造)(宿泊・飲食)(サービス)
- ・賃上げ(卸・小売)(建設)(製造)
- ・特殊工事が増え、工程によっては機械が全て稼働し、他受注作業を時間外で対応する必要が出たため時間外労働分がアップ(建設)
- ・パートが約 20 名在籍しているので影響は大きい(製造)
- ・5月に昇給、パートは 10 月に賃上げ(製造)
- ・10 月の最低賃金引上げではコストが上がるが仕方がない(製造)
- ・時給増額(宿泊・飲食)
- ・従業員の増員、社員増加(製造)(宿泊・飲食)(サービス)
- ・人手不足による賃上げ(宿泊・飲食)
- ・FC本部からの要請(サービス)
- ・2 名の退職者あり、うち 1 名は役員だったため退職金が高額となったため(サービス)
- ・人数削減と人件費高騰が相殺(サービス)
- ◆下請け単価
- ・値上げ要請(製造)
- ・材料費の値上げ(製造)
- ・最低賃金の引き上げ(製造)
- ◆その他経費
- ・運送費など間接費用の増加(卸・小売)
- ・光熱費の上昇(卸・小売)(宿泊・飲食)(サービス)
- ・改装経費(卸・小売)
- ・経費全体的に全て上がっている(卸・小売)(製造)(宿泊・飲食)
- ・保険料の上昇(卸・小売)
- ・人件費上昇に伴う運賃の上昇(卸・小売)
- ・送料(建設)
- ・燃料費の上昇(建設)(宿泊・飲食)(サービス)
- ・運送関係費用増加(建設)(製造)(宿泊・飲食)
- ・新しい事業への準備(製造)
- ・梱包資材の上昇(製造)
- ・段ボールの上昇(製造)
- ・世間ベースの値上げにあわせて(製造)
- ・包材関係が特に上がっている(製造)
- ・潤滑油、切削油価格上昇(製造)
- ・ガソリン代の上昇(宿泊・飲食)
- ・猛暑により冷房代上昇(宿泊・飲食)
- ・広告宣伝費単価上昇(サービス)
- ・年末に向けて印刷用紙・インク代が値上げされる旨メーカー通知あり(サービス)
- ◆コスト その他のコメント
- ・価格転嫁が追いつかない(製造)
- ・下がっているのは製品の質と量くらいなのではと感ずることもある(製造)
- ・原材料、その他経費ともに単価上昇、最低賃金の上昇によりすべて上昇(宿泊・飲食)
- ・サービス業地域 No.1 の賃金を目指さないと新規雇用に繋がらない(サービス)



#### 4 資金繰りの状況 ―前年同期と比べて―(全体)

資金繰りは全体としておおむね前回並みの割合で推移していますが、悪化回答は 5%減少しました。受注や需要の回復により資金状況が改善した企業もありました。一方で、販売の伸び悩みやコスト高、人件費の増加による利益幅の減少や借入の影響で手元資金の余裕が少なくなっている企業もみられます。

資金繰りの状況



##### 【主なコメント】

- ・利益の減少(卸・小売)
- ・ソフトウェア切替による在庫管理と余剰仕入れの削減により、余剰支出を抑えたため好転(卸・小売)
- ・受注が安定していることにより、資金繰りも困ることはない(建設)
- ・物価高騰価格が設計に反映されないし、反映されるのが遅い(建設)
- ・現場着手から工事完了の流れに 1 カ月程度のタイムラグがあるが、現状は問題なし(建設)
- ・空き工場スペースで新規事業を考えている(製造)
- ・7 月に制度資金を導入した(製造)
- ・売上増により好転(製造)
- ・販売価格を上げたが、経費や原料もさらに上がっている(製造)
- ・もち米の米価が今後も上昇が続く見込み(製造)
- ・技術者が高齢化している(製造)
- ・原材料値上がりにより利益幅が減少(製造)
- ・現在は好転しているが借入金の返済に充てるため、全体では変わらない(サービス)
- ・売上は増えたが、ショッピングセンター施設内移転による予定外の出費や工事期間中の会費返金、人件費の全体的な増額もあった(サービス)

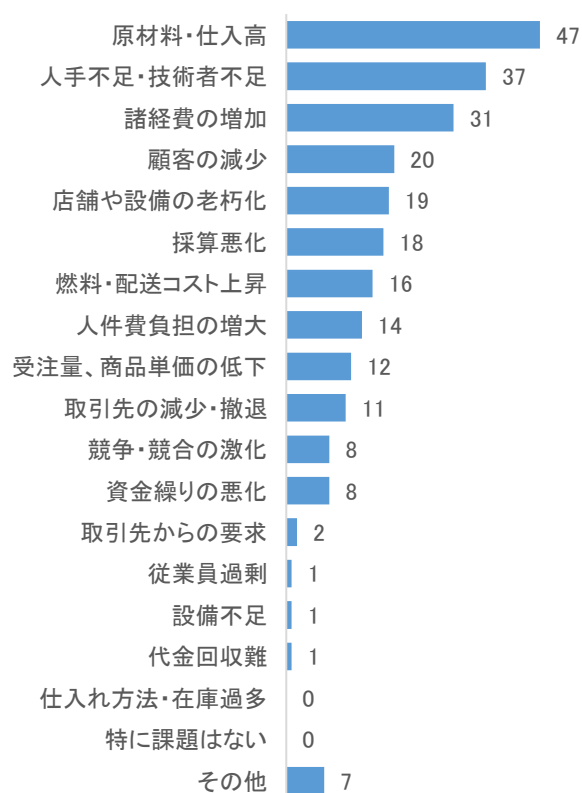
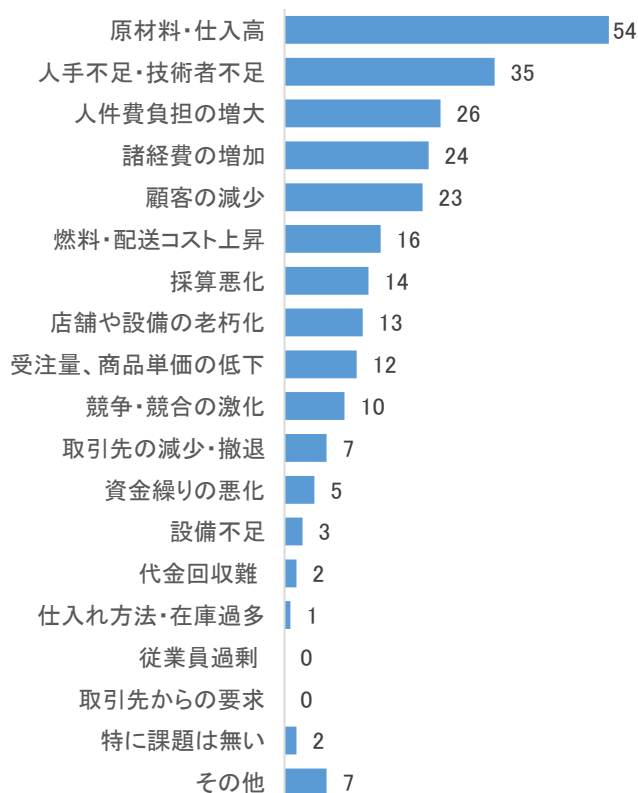
## 5 経営上の課題

経営上の課題としては、原材料・仕入高の上昇が最も多く、依然としてコストの上昇への対応が大きな負担となっています。次いで人手不足・技術者不足、人件費負担の増大があげられました。特に原材料・仕入高は影響が根強く前回から7件増加、最低賃金の上昇により人件費負担の増加は前回から12件増加と目立っています。人材の確保や賃金上昇への対応が課題となっています。このほか、諸経費の増加や顧客の減少も多くなっています。全体としては、コスト上昇と人材確保を中心とした課題が続いています。

【 R7.10 】

※3つまでの複数回答

【 R7.7 】



### 【主なコメント】

- ・後継者育成(卸・小売)
- ・スタッフの高齢化(卸・小売)(製造)
- ・採算悪化に伴う収益の悪化が懸念される(卸・小売)
- ・人手不足は大きな課題ではあるが、ベトナムや中国などの外国人材を採用している(卸・小売)
- ・公共工事等絞られてくると競合が激化する(建設)
- ・最低賃金の上昇により、人手は不足しているが、増員できない(製造)
- ・人手不足により納期遅れの発生(製造)
- ・売上が減少している分採算が悪化する予想(製造)
- ・長期に状況が好転しない代金回収難先がある(製造)
- ・後継者がいない取引先の廃業が多く、小口卸売としての減少が目立つ(製造)
- ・商品の価格転嫁をしているが追いつかない(製造)
- ・そもそもの固定費が上がっているし、店を開けて営業上の経費が普通に上がっている(宿泊・飲食)
- ・顧客の減については、披露宴の規模等習慣的に減っている(宿泊・飲食)
- ・食材の米は特別高いものを使っているわけではなく提携しているところのものを使っている(宿泊・飲食)
- ・生活様式の変化による売上減少(サービス)
- ・人手不足により受注対応ができない(サービス)
- ・大口の仕事がなかなか無い。またデジタル化の影響もある(サービス)
- ・新卒採用厳しく、従業員の年齢に偏りが生じている(サービス)

## 6 最低賃金・生産性向上等について

最低賃金の引き上げについては、「大いに負担を感じている」が34%、「多少の負担を感じている」が41%と多数を占め、業種・規模を問わず人件費の上昇が経営に大きな影響を与えています。その中でも卸・小売業、製造業では大いに負担を感じている企業の割合が半数近くを占めました。、「大いに負担を感じている」「多少の負担を感じている」を合わせると建設業以外では7~8割となっており、売上高の増加回答が伸びている建設業では約4割と、業種による差がみられます。

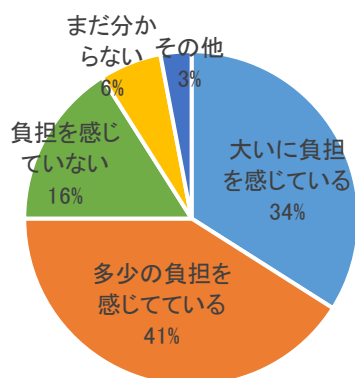
最低賃金引上げによる今後の自社への影響としては、「収益悪化・事業継続が困難」が最も多く、次いで残業時間・シフトの削減、設備投資の抑制、採用の抑制などが挙げられました。人手不足・技術者不足が課題となる中、人材の確保も進めたい一方で、従業員数の削減や賃上げ抑制など、人員面での対応を予想する企業もみられました。収益性の改善や事業継続のためには。これらを踏まえた経営見直しが求められる中、今後も経営負担が続くとの見方が多くあがっています。

生産性向上・省力化のための取組については、「製品・サービスの高付加価値化」が最も多く、価格転嫁が難しい中で付加価値を高めて採算を確保しようとする動きが目立ちます。次いでITシステム化・データの利活用、新分野・新規事業への進出、業務プロセスの見直し、人材育成・スキルアップの奨励が挙げられ、デジタル化や人材力強化を中心に取り組む傾向がみられました。その他にも、適材適所の人材配置、設備投資、ペーパーレス化などの回答が続き、生産性向上や省力化を通じて様々な取り組みを実施することでコスト上昇に対応する姿勢がうかがわれます。

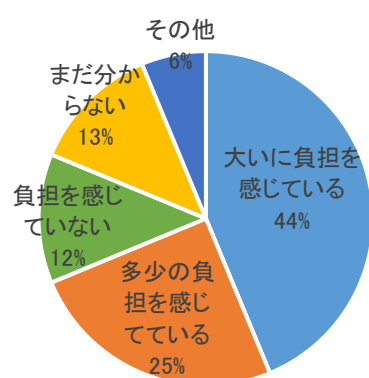
自社で活用している生成AIサービスについては、「ChatGPT」「Google Gemini」「Canva」などが挙げられました。一方、「特に活用していない」との回答が59件と多数を占めており、生成AIを業務に導入している企業はまだ限られています。当所で開催しているデジタル関連のセミナーも年々参加者が増加傾向にあることから、生成AIやITシステムの導入が今後さらに進むのではないかと考えられます。

(1)最低賃金引上げに対してどの程度の負担感を感じるか

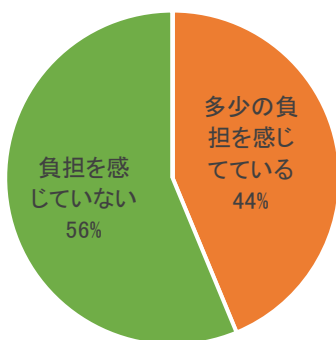
全業種



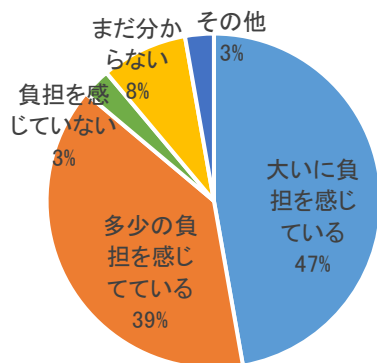
卸・小売業



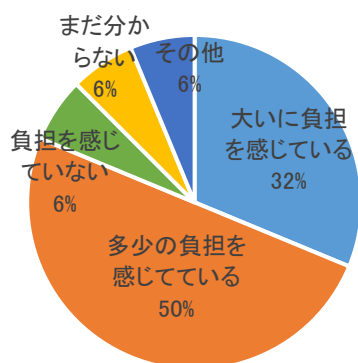
建設業



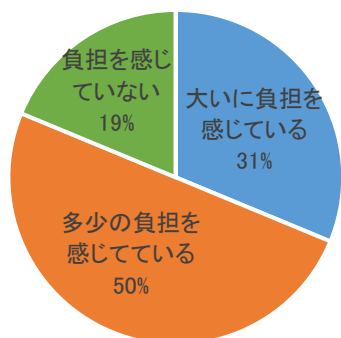
製造業



宿泊・飲食業



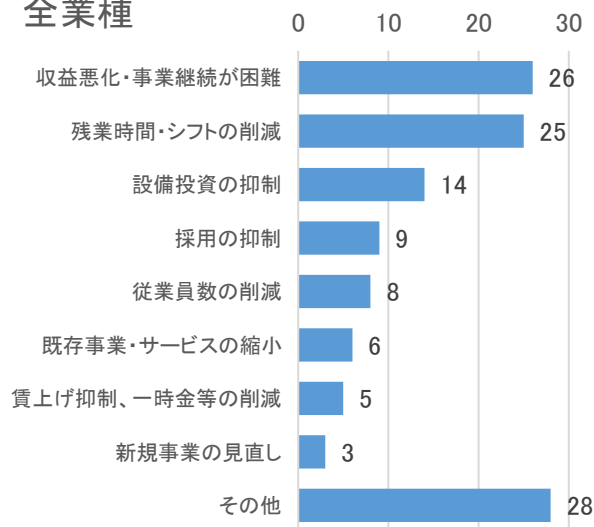
サービス業



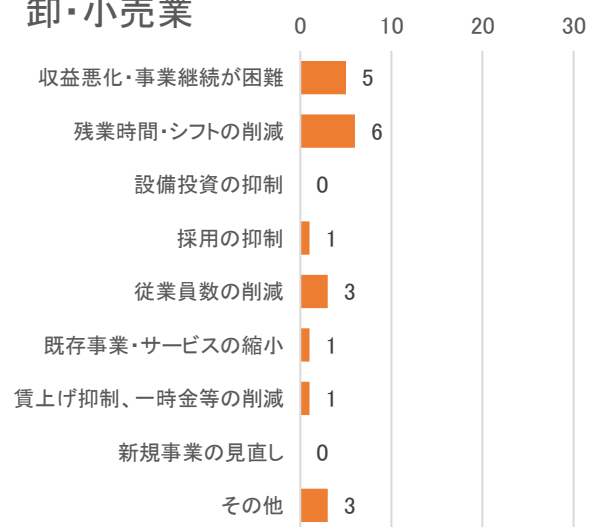
## (2)最低賃金引上げにより、今後予想される自社への影響

※複数回答

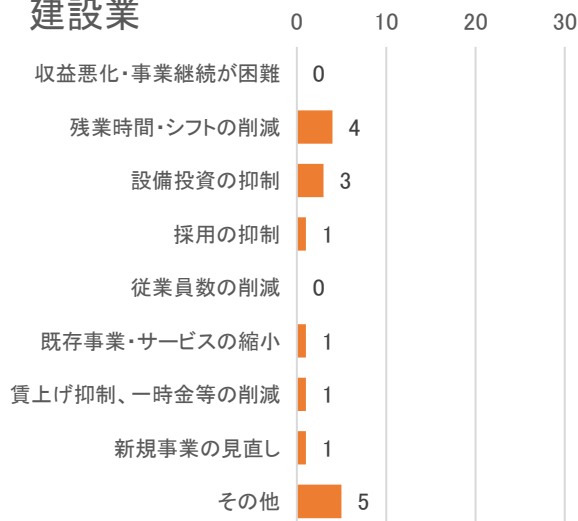
### 全業種



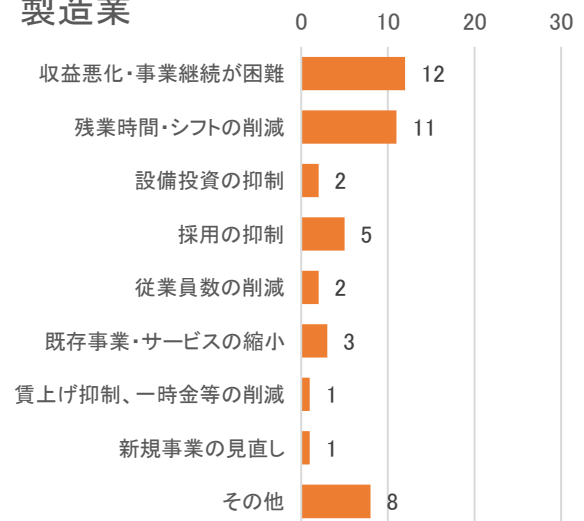
### 卸・小売業



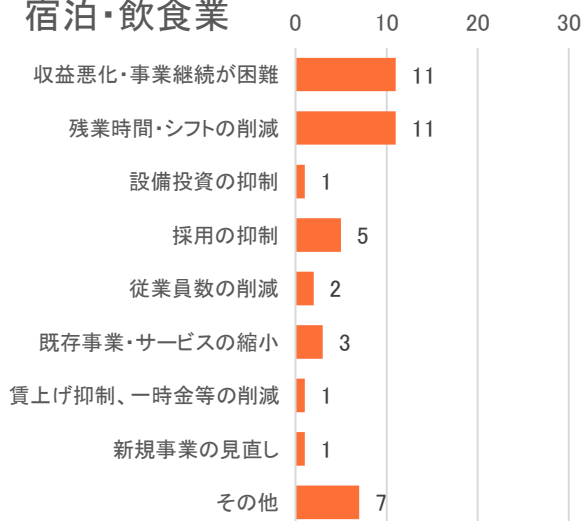
### 建設業



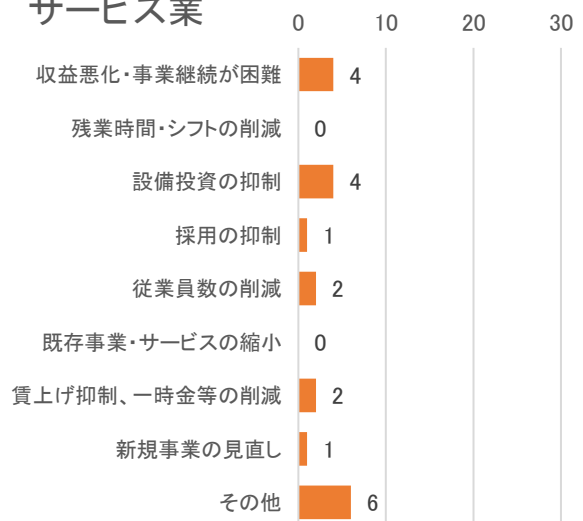
### 製造業



### 宿泊・飲食業

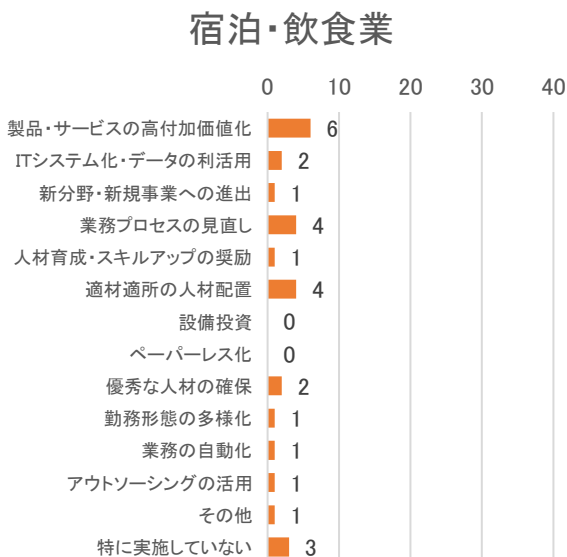
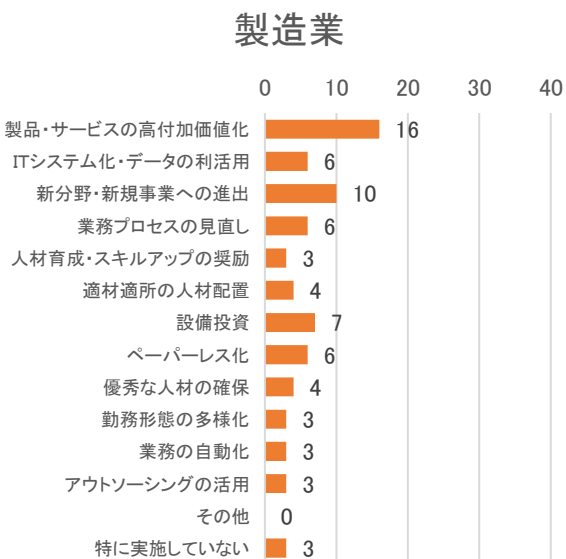
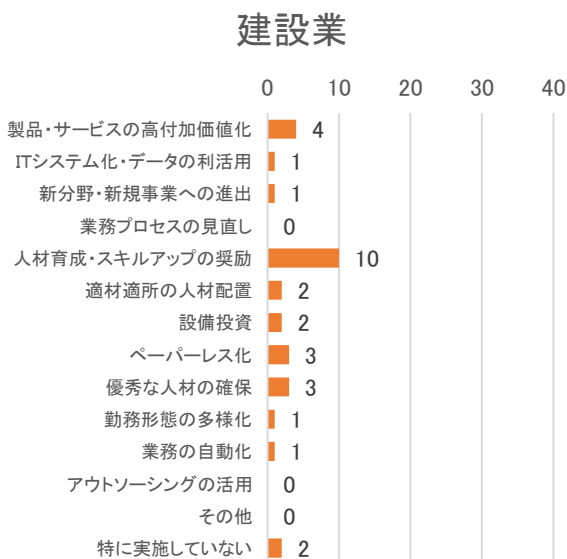
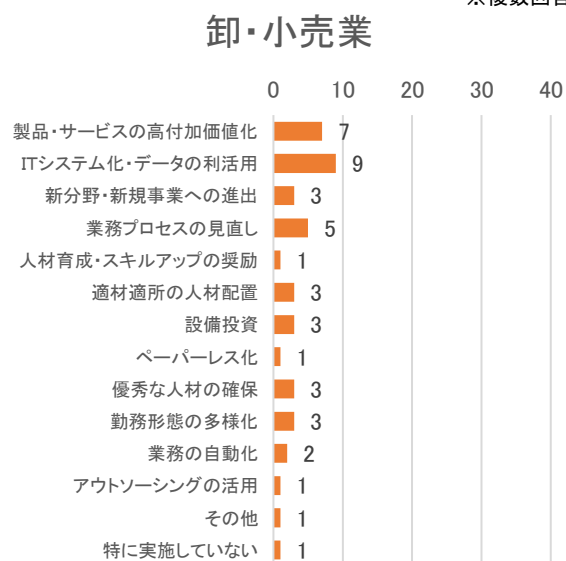
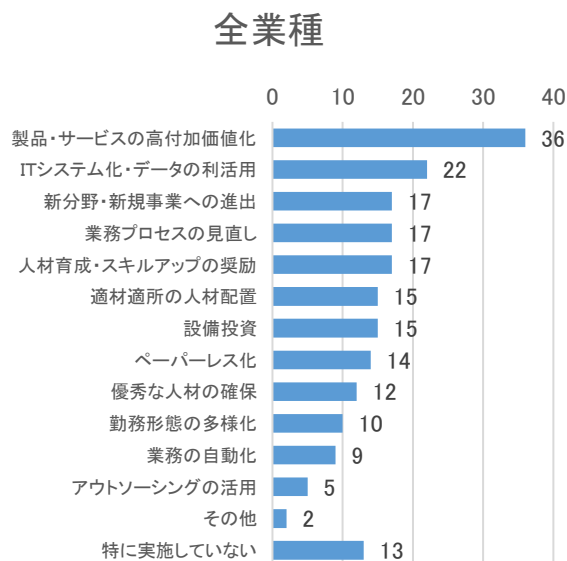


### サービス業



### (3)生産性向上・省力化のために実施している、又は実施予定の取り組みはあるか

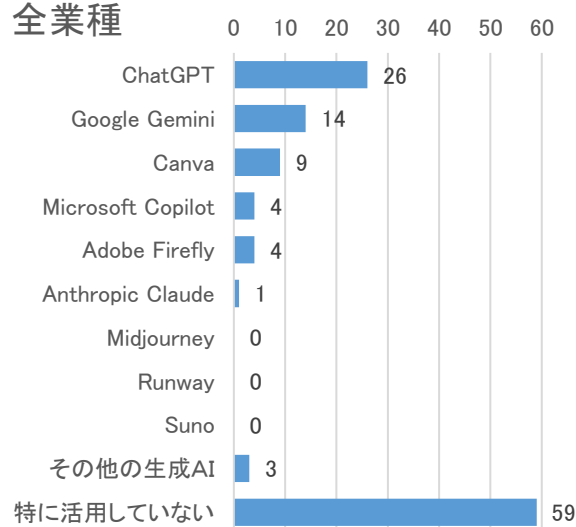
※複数回答



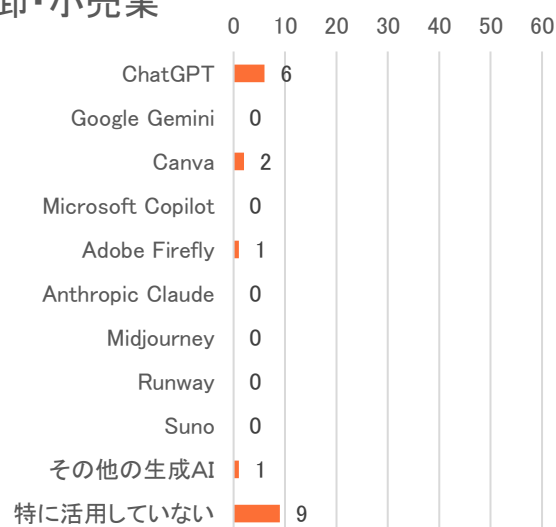
#### (4) 自社で活用している生成 AI サービスはあるか

※複数回答

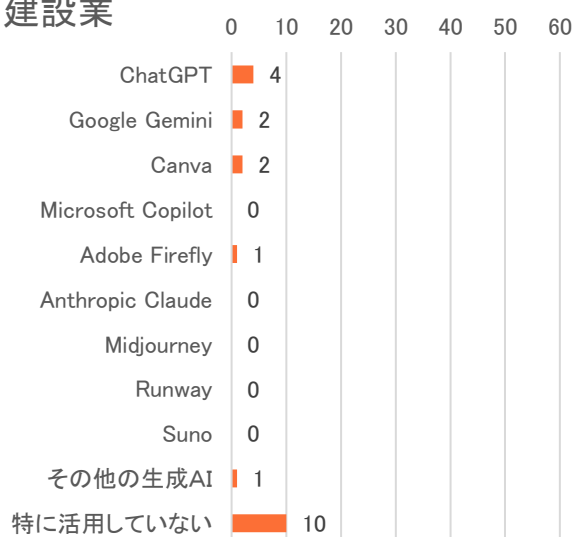
##### 全業種



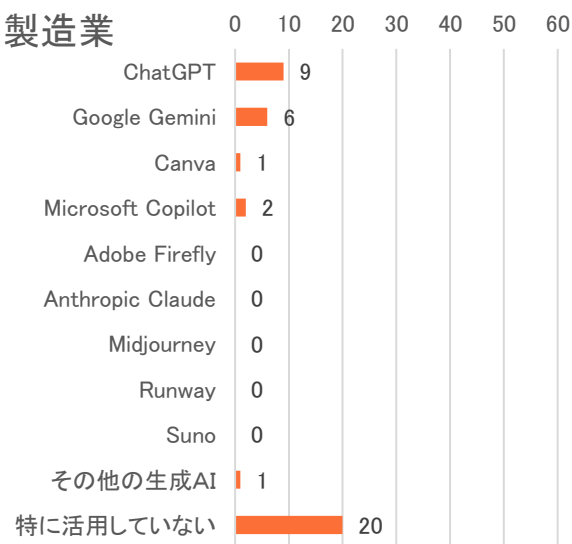
##### 卸・小売業



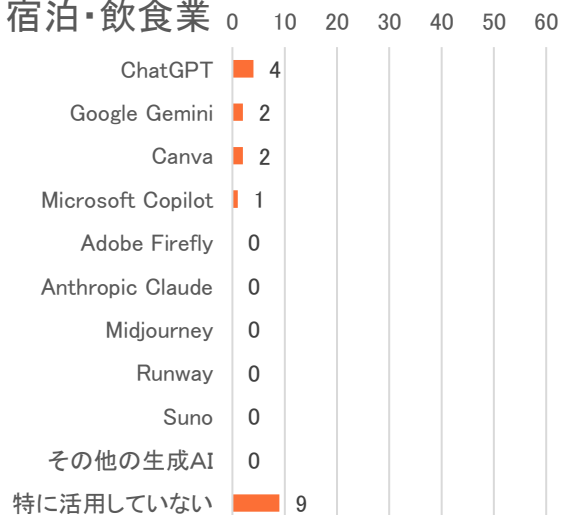
##### 建設業



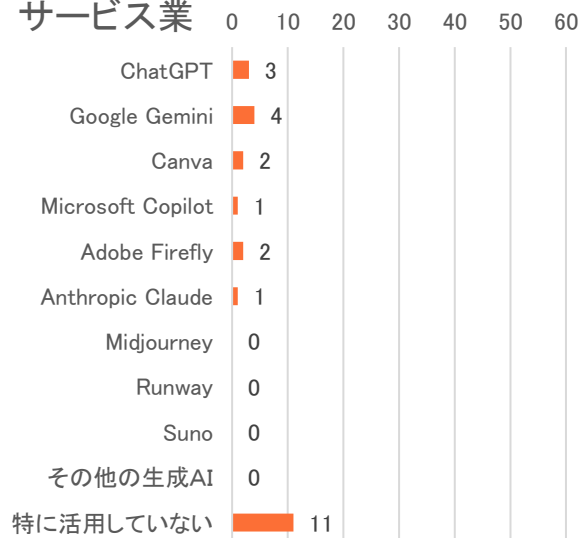
##### 製造業



##### 宿泊・飲食業



##### サービス業



○最低賃金引上げに対してどの程度の負担感を感じるか「その他」の内容

- ・該当する人、賃金の低いパートがいない(卸・小売)
- ・多少の負担は感じているが人材確保のためには致し方ない(卸・小売)
- ・現時点では最低賃金より高い金額なので大丈夫だが、頻繁に上がっているのが今後が不安(製造)
- ・最低賃金よりもともと高い水準である(製造)

○最低賃金引上げにより、今後予想される自社への影響「その他」の内容

- ・価格転嫁(卸・小売)
- ・価格見直しと件費に見合った製品・サービスの高付加価値化の提供(建設)
- ・価格交渉がしやすくなる(製造)
- ・仕入れ、下請けや外注費に労務費が反映されるため負担が多くなる(製造)
- ・収益強化をしなければならない(製造)
- ・様子をみる(製造)
- ・年収等を充分上げているのに求人を出しても応募が来ない、理由として休みや勤務地のこだわりがあるようだ(宿泊・飲食)
- ・業務プロセスの見直し等で対応を図ろうと考えている(宿泊・飲食)
- ・今のところは何とも言えない(宿泊・飲食)
- ・原材料価格の上昇(サービス)
- ・会社全体の賃金底上げによる負担増の影響(サービス)
- ・価格改定への消費者の抵抗感(サービス)

○生産性向上・省力化のために実施している、又は実施予定の取り組みはあるか「その他」の内容

- ・社員間コミュニケーションの増進(卸・小売)
- ・業務の自動化を一部進めているが、1人若い従業員を雇えるくらいの外注費がかかっている(宿泊・飲食)
- ・POSシステムの更新(宿泊・飲食)

○自社で活用している生成 AI サービスはあるか「その他」の内容

- ・Grok(卸・小売)
- ・Rerplexity(卸・小売)
- ・NotebookLM(卸・小売)
- ・図面作成ソフトとデジタルスキャナー(建設)
- ・セキュリティが課題であり、オープンソースを活用して自社開発をしている(製造)
- ・今のところ活用できる場所がないし、効率が悪くなってしまう、AIがどう判断しているのかプロセスを知るの  
は大切だと思うが(宿泊・飲食)

○その他ご意見等

- ・今後は会議等へ積極的に参加し、飯田市の開発発展等により深く注目していきたい(卸・小売)
- ・行政へ提言を投げかけられるような団体が増えれば良いと思う、そのためにも知見を深めることが重要と  
感じる(卸・小売)
- ・図面作成ソフトをものづくり補助金を活用して導入、1年ほど利用しているところ、成果事例として12月に東  
京で行われる「中小企業新ものづくり・新サービス展」にて紹介されることとなった(建設)
- ・従業員からの意見を集め、業務プロセスの見直しを行っている(製造)